

目次 -CONTENTS-

特集 形成外科外来について	1
● 特色ある診療内容:診療科・部門紹介ー泌尿器科ー	2
● 岐阜大学医学部附属病院 診療案内	3
● 産科医療補償制度について	3
● 位置図・岐阜バス岐阜大学病院行き系統・路線図・ 病院へのアクセス・病院駐車場のご案内	4
● 肝疾患診療支援センターの紹介	5
● がんネットワークの紹介	5
● 患者サービスー医療連携センターの紹介ー	6

病院の理念と基本方針

あなたとの対話が創る信頼と安心の病院

● 基本方針 ●

1. 患者様中心のチーム医療を提供します。
2. 人間性豊かな医療人を育成します。
3. 高度先進医療の研究・開発・提供を実践します。
4. 地域医療への積極的参画と連携強化を図ります。

特集

形成外科外来について

耳鼻咽喉科・頭頸部外科科長 水田啓介
形成外科外来担当医 加藤久和

■ 形成外科診療のご案内

2008年7月から耳鼻咽喉科内に、日本形成外科学会専門医による形成外科診療を開始しました。

■ 形成外科とは

生まれつき、またはけがや癌などで変形したり失われた体の表面や骨の異常を、機能的形態的に正常に近い状態に再建する科です。

特定の臓器の病気を治療対象とする外科ではなく、全身のあらゆる部位の異常や形態変化を治療対象としているので、他の診療科と多くの境界領域を持っています。

具体的な当科の治療対象疾患は、熱傷、顔面骨骨折を含む顔面外傷、眼瞼・耳・唇裂・漏斗胸・臍ヘルニアなどの先天異常、皮膚腫瘍、乳房再建を含む悪性腫瘍切除後の再建、眼周囲の形成外科、傷跡やケロイド、難治性潰瘍などです。

もっと簡単に説明すれば、いろいろな傷跡や変形をきれいにする科です。今まで気にはしていたが、放ってあった傷跡なども、一度相談にいらしてください。

■ 現状と抱負

今や、全国に80ある大学医学部附属病院で、形成外科専門医がいないところは、10病院程度となりました。中部地方は、大学医学部附属病院でも形成外科医不在のところが多い地域です。当院でも形成外科専門医診療は初めてのことで、これまで当院で形成外科専門医の診療を受けたくても、他県の病院での診療を受けざるを得なかった方は大勢みえると思います。全国どこに行っても、同じ治療が受けられることが理想です。より良い治療が受けられるよう、関連各科と協力し、努力していきます。

■ 形成外科担当医について

現在、形成外科はスタッフ1名です。日本形成外科学会専門医を取得し、名古屋大学や愛知県がんセンターで研修を積んできています。

■ 美容外科について

当科では、保険診療のみを行います。

■ 形成外科外来診療日

火曜・金曜の午前

■ 形成外科外来受診の方法

直接形成外科診察日に来院され、診察をうけることも可能ですが、診療所、病院の医師とご相談され、「耳鼻咽喉科、形成外科外来」を紹介、診療予約をお取りすることをお勧めします。

顔面の傷跡の修復例



特色ある診療内容：診療科・部門紹介

— 泌尿器科 —

泌尿器科は尿をつくる‘腎臓’、尿が流れる‘尿管’、尿がたまる‘ぼうこう’、尿が出ていく‘尿道’、さらに前立腺を含む男性生殖器、これらにおこる病気を対象とした診療科です。その病気には手術による治療がされてきましたが、最近キズが小さく痛みの少ない、また入院期間の短い新しい治療法が開発され、当科でもこれらの新しい治療法を導入しております。さらに腎臓の働きが失われる腎不全に対しては、岐阜県で唯一の腎移植手術を行っています。

▶ 前立腺肥大症の治療

前立腺は、ぼうこうから尿道が始まる場所にあり、精液の一部である前立腺液をつくるのが主な役割です。多くの男性では年齢とともに前立腺が大きくなります。その結果、前立腺がその中を通る尿道を圧迫した状態を前立腺肥大症といいます。直接生命への危険はありませんが、夜中トイレに何回も起きる、尿の切れが悪くなるなどの生活の質を低下させる病気です。

前立腺肥大症の治療は内服薬で始めます。しかし、内服薬が無効な場合、尿が出ない重症例では手術が必要となります。多くの泌尿器科施設では電気メスを用いた内視鏡手術がなされています。当科では2005年からはレーザーメスを用いた内視鏡手術をしています。レーザーメスのよい点は、①出血が少ない、②手術中の合併症が少ない、③手術後の痛みが少ない、④術後に尿道にカテーテルを挿入する期間が大幅に短くなり、術後の入院期間も電気メスより短いことです。しかも通常の保険診療で行えます。退院後の経過、治療効果は他の手術法と同様です。

▶ 前立腺癌の放射線治療

前立腺癌は欧米人や黒人に多い癌ですが、近年、日本人でも増加しています。腫瘍マーカーのPSAが検診で測定されるようになってから、早期癌の状態で見られる割合が増えています。早期前立腺癌の治療としては、以前は手術または内分泌療法と呼ばれる男性ホルモンを抑える治療が選ばれていました。当院ではさらに放射線治療医と協力して、2種類の放射線治療を実施しています。1つは外照射の強度変調放射線治療、もう1つは内照射の密封小線源永久挿入治療です。岐阜県では当院のみがこの両治療法を行えます。

手術も放射線治療も、それぞれ長所、短所があります。当科では、前立腺癌の病状、また他の合併疾患を考慮して、また患者さんの希望も踏まえて、治療法をお勧めしています。合併疾患のために全身麻酔が危険な場合、手術合併症の回避を強く希望される場合には、放射線治療をお勧めすることが多いです。現在では治療後の生存に関しては、手術も放射線治療もほぼ同じ成績です。

▶ 腎腫瘍、副腎腫瘍に対する腹腔鏡手術

手術のキズを小さくして、術後の痛みを和らげて、入院期間が短くなる。このような、腹腔鏡手術には開腹手術にない利点があります。当科では1997年から腹腔鏡手術を行っています。対象となるのは、腎臓及び副腎の疾患、その周囲の腫瘍、さらに男児の非触知精巣などです。腹腔鏡手術はこれらの病気の一部にはまだ使えませんが、徐々に適応範囲が広がっています。当科でも、10年前と比べかなり大きな腎癌も安全に手術が行われています。



▶ 腎移植

当院は岐阜県で唯一腎移植手術を行っています。また岐阜県唯一の献腎移植登録施設です。新病院移転後は腎移植外科を新たに設置しました。ここ3年は毎年20件以上の腎移植手術を行っています。新しい薬剤の開発により、血液型不一致の親子、兄弟でも腎移植が可能となりました。最近では夫婦間でも行われています。当院で移植された患者さんが集まった親睦会『柳戸会』が活動されています。移植医療に関する社会活動にもご協力いただいております。

親族からの臓器提供のみでは、腎移植希望者すべてに腎移植を行うことは出来ないのが現状です。岐阜県では当院を中心として臓器提供を増やすためのドナーアクションプログラム（臓器提供推進プログラム）を推し進めています。

（文責：江原英俊）

●外来診察日一覽

凡例 ⊕:初診・再診 ○:初診 △:再診 休:休診

診療科 (臓器別名)	月	火	水	木	金	
内科	消化器内科	⊕	○	⊕	⊕	⊕
	循環器内科	⊕	⊕	⊕	△	⊕
	腎臓内科	⊕	⊕	⊕	休	⊕
	呼吸器内科	⊕	休	⊕	⊕	⊕
	血液・感染症内科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	東洋医学	△ ^{午後}	△ ^{午後}	△ ^{午後}	△ ^{午後}	△
	糖尿病代謝内科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	免疫・内分泌内科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	神経内科・老年内科	⊕	⊕	⊕	休	⊕
	総合内科	△	△	△	△	△
外科	心臓血管外科	⊕	△	⊕	⊕	△
	呼吸器外科	⊕	△	⊕	⊕	△
	消化器外科	⊕	○	⊕	⊕	⊕
	乳腺外科	⊕	予約のみ	⊕	休	⊕
	甲状腺外科	⊕	△	⊕	⊕	△
	腎移植外科	休	△	⊕	⊕	△
育成医療科・女性科 (産科婦人科)	⊕	⊕	⊕	△	⊕	
整形外科	休	△	△	△	⊕	
脳神経外科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
眼科	⊕	⊕	休	⊕	予約のみ	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	⊕	⊕	休	⊕	○	
皮膚科	⊕	休	⊕	○	⊕	
泌尿器科	○	⊕	⊕	○	⊕	
精神神経科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
小児科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
放射線科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
麻酔科・疼痛治療科	⊕	⊕	休	⊕	⊕	
歯科口腔外科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
総合診療部	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	

※診察日は、変更する場合がありますのでご了承下さい。

受付時間/診察開始時間/休診日/面会時間

初・再診受付：8：30～11：00

診察開始時間：9：00～

休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

面会時間：10：00～21：00

●外来受診の方法

- ◇初診の方は、1階ホールに設置の記載台にて診療申込書に必要事項を記入いただき、保険証を提示の上初診窓口で受付をします。受付後、それぞれの診療科をご案内します。
- ◇再診で予約なしの方は、再診窓口にて当日の予約をし、それぞれの診療科受付へお越しください。
- ◇予約のある方は直接2階の総合受付又は当該診療科の受付へお越しください。受付では、診察券を提示いただきます。受付担当職員が診察券を受付機に通すことによりそれぞれの診療科の受付が完了します。受付完了後は、各診療科診察室前でお待ちください。
- ◇各診療科診察室前の大型のディスプレイに、ご自分の番号が表示されましたら診察室にお入りください。

●予約診療

- ◇本院は、基本的に再診は予約制となっています。初診で受診され、次回の診察が必要な場合には、医師が診察直後に患者さんと相談の上、次回の診察日及び診察時間を設定し予約します。会計窓口で会計処理の際、診察券の裏面に次回診察日時が印刷されます。
- ◇次回予約がなくて、再度診察を希望される場合は、予約センター（058-230-6123・6125）にお電話いただき、診療予約をとっていただくこととなります。
- ◇予約がなくても、直接来院されて、再診窓口にて当日予約を取ることも可能ですが、この場合は当日に担当医が不在で、別の医師となることもあります。なお、初めて本院を受診される方及び本院の他の診療科を初めて受診される方は予約できません。

●診療費のカード払いについて

- ① 診療費のお支払いについては、下記のクレジットカードをご利用できます。
DC、UFJ、NICOS、VISA、Master、JCBの各種カード
1階ホールの自動支払機で取扱っています。窓口でのお取扱いはできません。
利用時間は、平日の9時から17時まで。(時間外及び土日祝祭日はご利用できませんのでご了承願います。)ご利用の際には「診察券」が必要です。
- ② お支払いは、すべて「1回払い」のみの取扱いとなります。(分割/リボ払いはできませんので、ご了承願います。)
- ③ ご利用の際には、事前に「暗証番号」、「利用限度額」のご確認をお願いします。
クレジットカードの裏面に各カード発行会社名及び連絡先/電話番号が記載されていますので、お問い合わせください。

産科医療補償制度について

本院では、平成21年1月1日以降に生まれる全ての赤ちゃんを対象にした「産科医療補償制度」に加入しました。この制度は、出産を取り扱う病院・診療所・助産所が加入者となり、生まれた赤ちゃんが重度の脳性麻痺(①出生体重が2,000g以上かつ胎週数33週以上、②身体障害者等級1・2級相当の重症者)に該当する場合に一定の補償金をお支払いする制度です。ただし、先天性要因、新生児期要因による場合は補償されません。

補償金額は、準備一時金(看護・介護を行うための基盤整備のための資金)として600万円、補償分割金(看護・介護費用として毎年定期的に支給)として2,400万円(年間120万円を20回支給)となっています。

手続き等の詳細については育成医療科・女性科窓口にお尋ねください。

なお、参考までに本院での出産に伴う分娩介助料は平成21年1月1日から以下のとおりとなっていますのでお知らせします。

分娩介助料：単胎の時 180,000円
多胎の時 120,000円 (1児増すごとに)

※時間外、深夜、休日の場合は2割増しとなります。

●位置図



●病院へのアクセス

◇鉄道をご利用の方

JR東海で「岐阜駅」下車
名古屋鉄道で「名鉄岐阜駅」下車

◇バスをご利用の方

岐阜バス

岐阜大学病院線・岐南町線で「名鉄岐阜駅前、JR岐阜駅」乗車、岐阜大学病院下車 所要時間30~40分
(運賃：名鉄岐阜・岐阜駅から310円)

◇タクシーをご利用の方

JR岐阜駅、名鉄岐阜駅から約20分
(約3,000円)

●病院駐車場のご案内

本院では、約500台が駐車できる外来患者駐車場を用意しています。

【駐車整理料金等】

- 外来患者：受診日当日……………無料
 - 入院患者：入・退院日当日……………無料
- 「会計窓口等」で駐車整理券を提示し、受診されたことの確認を受けてください。

確認の時間・場所

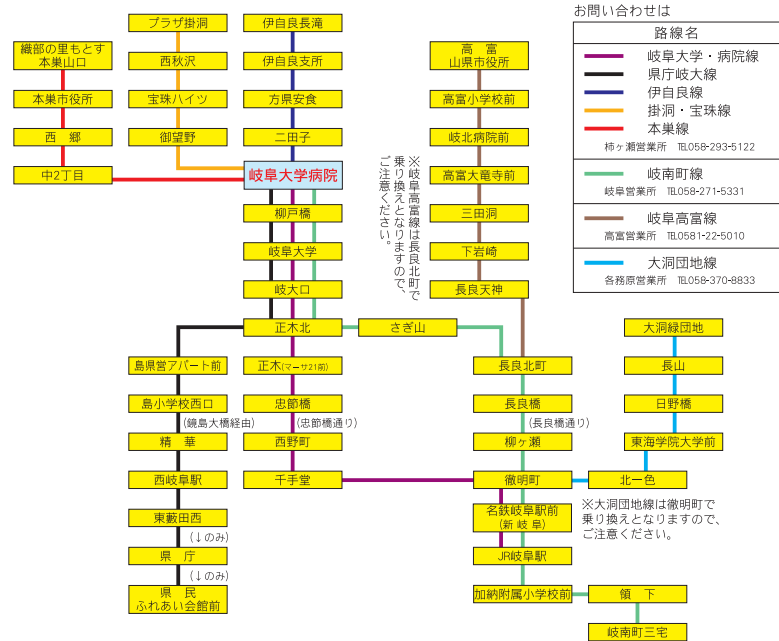
- ・平日8時30分~17時15分 (1階会計窓口)
- ・その他の時間 (1階夜間受付)
- 一般外来者(面会・お見舞い・付き添い他)
- ・入構から30分まで……………無料
- ・入構から30分を超え90分まで……200円
- 90分を超えたら1時間ごとに100円を加算。ただし、その額が500円を超えることとなる場合は500円

・入構から24時間を超える場合…500円に24時間までごとに500円を加算した額
なお、入院中に駐車されている場合(入・退院日当日を除く。)は、1日あたり500円の駐車整理料金をお支払いいただくこととなります。

(ご注意)

駐車整理料金は、現金または病院内で販売されているサブ(IC)カードで精算願います。現金での料金精算には小銭が必要となりますので、あらかじめご用意願います。(1万円札・5千円札・2千円札は使用できません。)

●岐阜バス岐阜大学病院 系統・路線図



病院広報 鵜舟第11号

平成21年1月発行

発行／岐阜大学大学院医学系研究科医学部情報委員会附属病院部会

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1 TEL(058)230-6000(代表)

岐阜大学医学部附属病院ホームページアドレス <http://hosp.gifu-u.ac.jp>

肝疾患診療支援センター紹介

ウイルス性肝疾患の撲滅を目指して

肝疾患診療支援センター長 永木正仁

●肝疾患診療連携拠点病院とインターフェロン治療費の公費助成

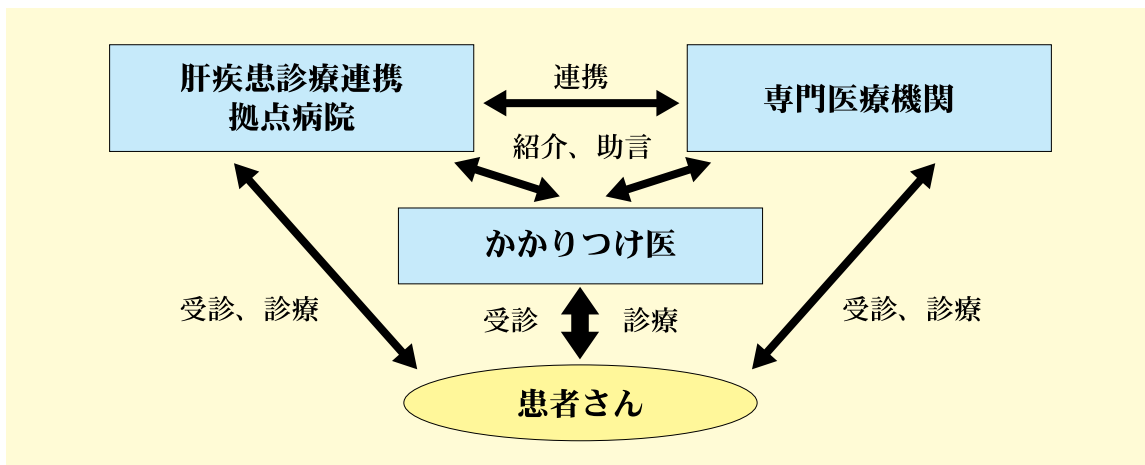
岐阜大学医学部附属病院は、岐阜県の推薦に基づき厚生労働省の設置認可を経て、平成19年11月1日付けで、岐阜県の肝疾患診療連携拠点病院に指定されました。これは、国の事業の一環として行われているもので、全国的な肝炎診療水準の向上を図ることを目的に、各都道府県における肝疾患診療ネットワークの中心的な役割を担う医療機関が、各都道府県に原則1箇所選定されています。

国内最大の感染症であるB型ウイルス性肝炎ならびにC型ウイルス性肝炎は、インターフェロン治療が奏功すれば、ウイルスを除去し、その後の肝硬変や肝がんといった重篤な病気を防ぐことが可能です。しかしながら、インターフェロン治療に係る医療費は高額であるため、早期治療の促進の観点から、平成20年4月よりインターフェロン治療に係る医療費が公費助成されています（現行では最長1年、平成21年4月以降は最長1年半になることが検討されています）。

●当センターの業務内容

- (1) 医療情報の提供
- (2) 都道府県内の協力医療機関等に関する情報の収集や提供
- (3) 医療従事者や地域住民を対象とした研修会・講演会の開催や肝疾患に関する相談支援
- (4) 専門医療機関等との協議の場の提供
- (5) 専門的な知識を持つ医師（肝臓専門医・指導医）による肝疾患の診断と治療、インターフェロンなどの抗ウイルス療法、肝がんに対する集学的治療

肝疾患診療ネットワーク



がんネットワークの紹介

このたび、岐阜大学医学部附属病院は、国立大学病院としては初めて国立がんセンターとネットワークの接続を行いました。これについて、平成20年11月6日(木)に国立がんセンターの主催により、北は北海道から南は九州まで国立がんセンターと接続がされている各県がんセンター等とTV会議システムを利用した本院の参加の歓迎オリエンテーションが開催され、森脇病院長、吉田腫瘍センター長からこのネットワークを接続することによる期待、抱負等が語られました。今後このネットワークの接続により、TV会議システムで国立がんセンターや各がんセンターで開催されている各種研修に参加することが可能となり、また、医療関係者の皆様に対して、情報の発信、情報の交換等、更には患者さんの会等のネットワーク拡大をすることにより地域医療に貢献できる体制を整えることができたことと思います。今後、速やかにこうした研修等に関する情報を発信していく予定ですので、ぜひとも多くの皆様に参加していただきますようよろしくお願いいたします。

医療連携センターの紹介

医療連携センターでは、表に示す患者さんやご家族からの相談をお受けしています。
 医療連携センターは、病院玄関近くであり、9人のスタッフがお待ちしております。
 相談は、できるだけ事前に電話等で相談日時を予約の上、お越しいただきますようお願いいたします。
 その他、医療機関からのFAXを利用した患者さんの診療等予約（午前8時30分から午後5時）も行っています。

相談内容	相談時間等	相談内容等
女性専門相談	予約制 月曜日14:00～16:00	女性医療スタッフによる健康相談
こころの相談	予約制	療養に関する心理的・社会的な相談
看護相談	随時	患者さんにご家族の療養についての相談 在宅看護・退院に伴う相談
医療福祉相談	8:30～17:00	医療費・生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談 療養生活、転院、退院に伴う相談
がん相談	9:00～16:00	がんに関わる医療やがん患者さんの生活についての相談
難病相談	8:30～17:00	難病の患者さんが安心して住みなれた地域で療養できるための相談
セカンドオピニオン	予約制	診断や治療法について主治医以外の意見を聞くことに関する相談
要望、苦情等	8:30～17:00	診療についての要望、苦情等の受付

医療連携センター TEL 058-230-7033 FAX 058-230-7035

募集!

看護師/看護補助者 —明日に向かって羽ばたこう—

- ◆平成20年5月1日から7対1看護師配置を実施しています。
- ◆常勤・パートタイマー看護師ともに募集しています。
- ◆パートタイマー看護補助者を募集しています。
- ◆勤務形態・配置場所・採用日など相談に応じます。
- ◆いろいろな経歴の看護師が活躍しています。
- ◆育児部分休業や夜勤専従を導入しています。
- ◆大学保育園「ほほえみ」があります。

* 病院見学及び詳細な説明をご希望の方は下記にご連絡ください。

医学部附属病院総務課人事係：058-230-6055 看護部事務室：058-230-7287



初期 後期 臨床研修医募集!!



未来のシステムを先取りしたトータル・インテリジェント・ホスピタルで医師としての第一歩をスタートさせ、地域医療に貢献しませんか？
 詳細は下記まで

医学部附属病院総務課人事係
 TEL：058-230-6055
 E-mail：gjha01007@jim.gifu-u.ac.jp